

平成28年度中学生だっぴ報告書

1、中学生だっぴとは

中学生がいるんな世代や生き方と出会い・語り合う場です。様々な人に出会うことで、人生の選択肢や人それぞれが持つ価値観を知り 自己や他者を尊重して選択をほしい。あまり話さない年代や分野の人と出会うことで、他者への理解を深め コミュニケーションをとることの楽しさや可能性を知ってほしい。

自己肯定感や自己効力感を高め 社会や職業観の視野を広げることで、学校での学習や将来の選択に当事者意識を持って取り組む意識変革につながるのではないのでしょうか。意味を見出し積極的な学びの姿勢を持つことは、直近の進路選択のみならず 未来の岡山を担っていく人材を育成していくことにつながるのではないのでしょうか。

2、これまでの流れ

【1年目】平成27年度

NPO 法人だっぴと岡山市教育委員会との協働事業としてスタート。初年度は岡山市内1校で中学生だっぴを実施。平行して岡山市内 37 校を対象にキャリア教育状況の聞き取り調査を行い、効果検証とニーズ調査を行った。

【2年目】平成28年度

様々な地域や規模に適応しうるかを検証するため、岡山市内の環境の異なる4校で中学生だっぴを実施した。

○年間延べ参加人数

中学生 523名

地域の大人 298名

キャスト 246名

※キャストとは
会話のサポート役として事前に講習に参加している
ボランティアスタッフ

学校名	足守中学校	瀬戸中学校	岡山中央中学校	吉備中学校
日時	6月26日(日) 8:50~10:40	7月13日(水) 11:00~12:50	1月14日(土) 9:00~11:30	2月25日(土) 9:00~11:30
ねらい	・広い世界を知る ・進路を考える	・おとなに出会う ・進路を具体的に	・地域との繋がり ・将来を考える	・将来を考える ・もやもやを話せる
対象	40名 (3年生)	122名 (2年生)	105名 (2年生)	256名 (2年生)
参加	大人 24名 キャスト 25名	大人 35名 キャスト 36名	大人 75名 キャスト 57名	大人 164名 キャスト 91名 大学生 37名
会場	体育館	体育館	体育館	しらさきアリーナ (中国学園大学)

多様な状況での開催の課題が具体的にになり、今後機会を広げていくためのプログラムや体制づくりのヒントを得た。また1年目は口コミでの参加が多かったが、チラシやホームページを整備したため、新たな層の参加協力を得る事ができた。また1年目より参加しているキャストの関わりや学びの機会を増やし、これからの実施を担保する法人体制づくりにも注力した。

今年度を基盤に継続性のある実施体制を確立し、必要としている地域への機会提供を行いたい。

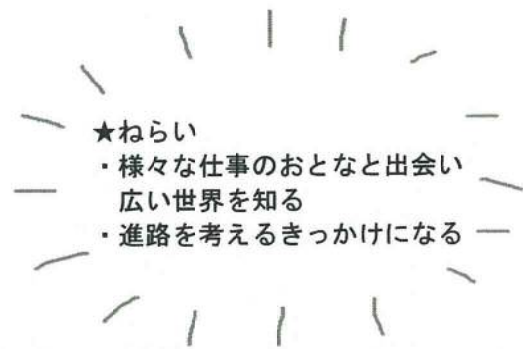
No,1 足守中学生だっぴ

実施日：2016年6月26日（日）8:50～10:40

開場：岡山市立足守中学校 柔剣道場

対象：足守中学校3年生 40名

協力人数：おとな 24名（地域12名、地域外12名）、キャスト 25名



○特徴

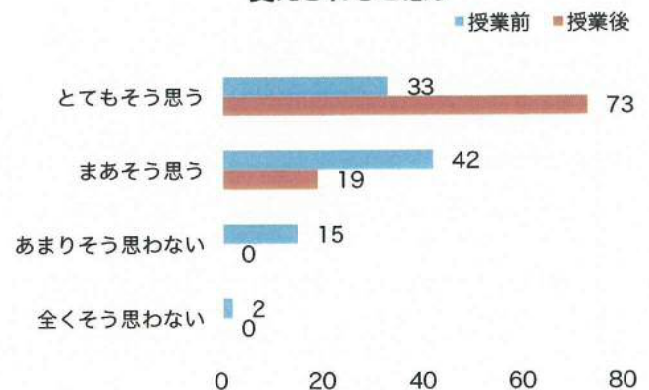
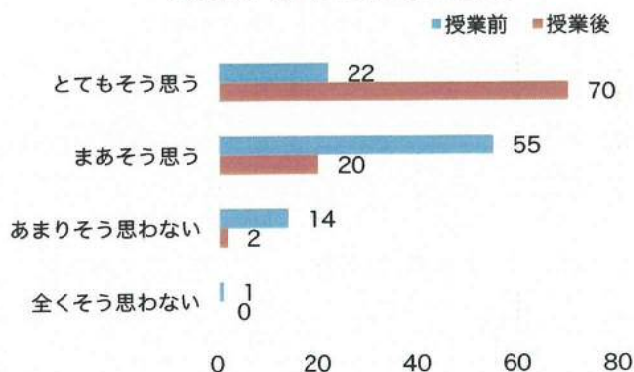
地域との交流機会が多い事と学区内での職種が限られているため、参加する大人の半数を学区内。半数を学区外より募集し、様々な職業人に会えるように行った。



○実施前後アンケート結果

Q：大人になるのが楽しみだ。
または、働くのが楽しみだ。

Q：自分の未来は自分で動けば
変えられると思う



○中学生の感想

- ・大人の意見が聞けて良かった。自分とはちがう、なるほどなって思う意見もあって、面白く、楽しかった。とても役立った。
- ・今までは、なりたい物だけ、とかそういう未来の考え方だったけど、いろいろな選択ができるを知った
- ・いろいろな意見が聞けて楽しかった。「こんな人になりたい」って思える人物像(?)みたいなのができた。
- ・自分が悩んだ時、今日の事を思い出して、だれもが同じ考えじゃないと考えていきたいです。
- ・「必要ないと思っていることも、どこかちがう形で必要になる時がくる」その通りなのかな
- ・大学生とかに、これからなっていくと思うけど、自分を見つけて、だれかの役に立てる大人になりたいと強く思った。楽しかったです！ありがとうございました！！

実施して成果と課題（担当者）

公共交通機関での移動が難しい難点があったが、小規模であることと中学校と地域との連携が出来ていることで、参加募集の労力は大きくなかった。また学校だけでなく地域全体を見ながら、継続を視野に”一緒につくる”スタンスで連携できる関係をつくることができた。

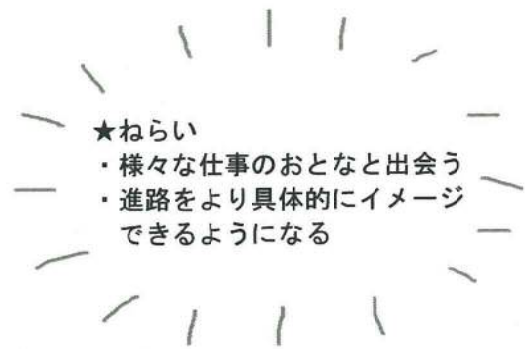
No,2 瀬戸中学生だっぴ

実施日：2016年7月13日（水）11:00～12:50

開場：岡山市立瀬戸中学校 体育館

対象：瀬戸中学校2年生 122名

協力人数：おとな 35名（地域28名、地域外7名）、キャスト 36名



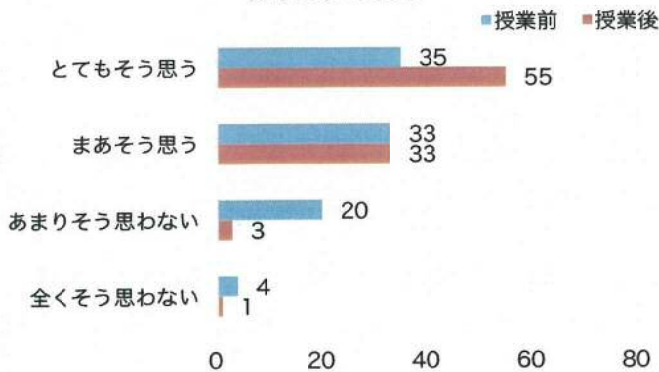
○特徴

- ・通学可能な範囲に高校がいくつもあり選択肢が多い
- 進学意欲や学習意欲が上がりにくい
- ・平日開催

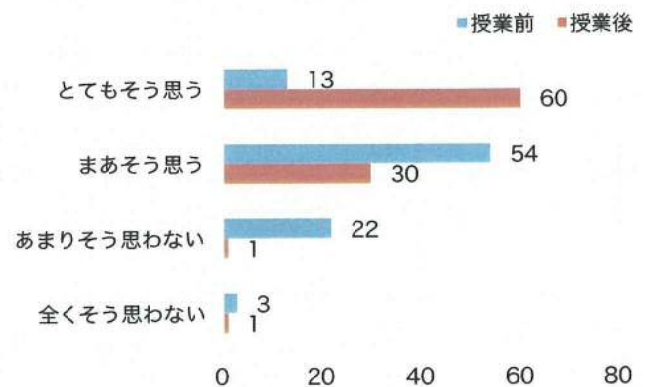


○実施前後アンケート結果

Q：自分のなりたい理想像や将来の夢がある



Q：日常の過ごし方を変えようと思っている



○中学生の感想

- ・一人一人ちがう意見がでて、とてもおもしろかった、将来について考えることができた。
- ・普段考えないことを話せたし、とても楽しかったし、優しかった。いろいろ話せた。またやりたい。
- ・高校進学、就職、大人になることに対して、強い不安があったけど、今回話し合ったり相談することで、将来のことが少し楽しみになった。
- ・いろいろな年代の人の話を聞くのが楽しかった。同じテーマでも人によって違うのが面白かった。大学生の人がすごく優しく接してくれた。
- ・いろいろな意見が聞けて、将来のことや生きるためのことが学べて勉強になった。前向きな言葉をたくさんもらえて、自信になった。何事にもがんばろうと思えた。生きることが大変だと思っても、今日はなしてくださったことを思い出してがんばろうと思った。

実施して成果と課題（担当者）

平日開催により、大学生や大人の参加が日程的に難しく、参加者が集りづらい状況があった。それにより年齢層が偏ってしまう状況が見られた。平日の開催は規模により検討して実施する必要がある。しかし近隣の大学や企業との連携ができれば、公的に参加できる可能性もある。それが地域や教育に関心の少ない大人も参加する機会になれば、付随して子どもをとりまく地域環境を整えることができるのではないだろうか。

No,3 岡山中央中学生だっぴ

★ねらい

- ・地域とのつながりをつくる
- ・進路を考えるきっかけになる

実施日：2017年1月14日（土）9:00～11:30

開場：岡山市立岡山中央中学校 体育館

対象：岡山中央中学校2年生 105名

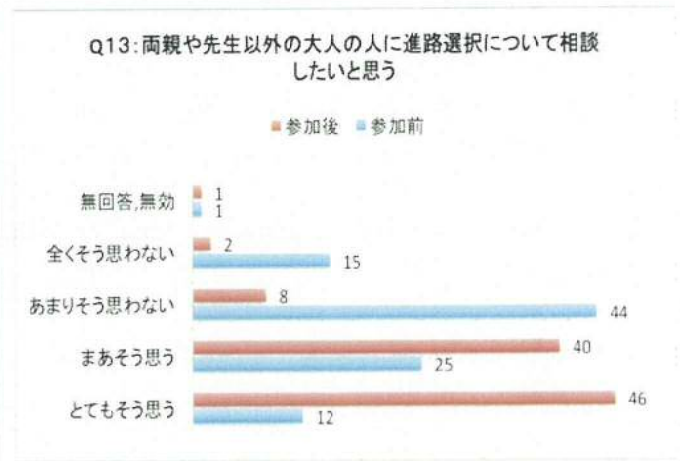
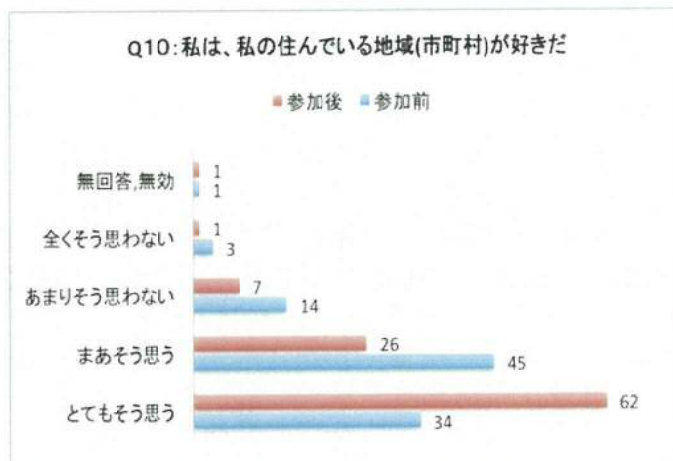
協力人数：おとな 75名（地域56名、地域外19名）、キャスト 57名

○特徴

- ・中心市街地の中学校
 - ➡多様な仕事や大人が近くにある
 - ➡地域でのつながりをつくりにくい
- ・実施継続校（2年目）



○実施前後アンケート結果



○中学生の感想

- ・だっぴがなかったら話す事がなかった人たちとも話すことができ、とても自分のためになった。自分の将来のためになった。
- ・大人の意見でたくさん共感できることがあった。気軽に話せた。
- ・本当に、いろんな経験をした人がいた。その人の思いなど知れてよかった。
- ・今この時期にしか聞けない話を聞くことができ、うれしかったしありがたかったです。このような場がもっと増えればいいなと思う。
- ・とてもおもしろくて、来て良かったと思った。

実施して成果と課題（担当者）

1年目の経験があることや立地がよいため、準備や募集についてスムーズに行うことができた。前年参加した大人も多く参加し、「楽しみにしていた」との声も上がった。また中学校の協力や積極的な提案もあり、より中学校の環境やニーズに適した機会になっていっている。

前年度参加した生徒は、地域でのボランティアに参加する子が増えたとのコメントをもらった。大人に関わるハードルを下げることで、積極的に地域活動に参加し愛着を感じることができれば、岡山の課題となっている若者の流出を緩和させる一助になるのではないだろうか。

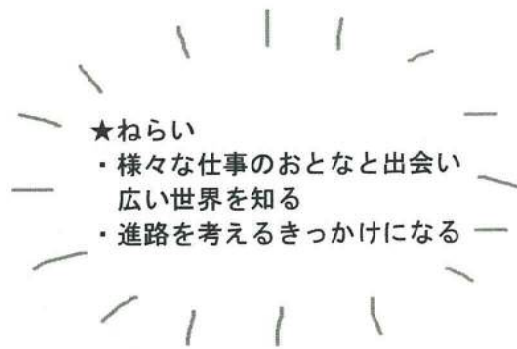
No,4 吉備中学生だっぴ

実施日：2017年2月25日（土）9:00～11:30

開場：中国学園 しらさぎアリーナ

対象：吉備中学校2年生 256名

協力人数：おとな 164名（地域83名、地域外81名）、キャスト 91名

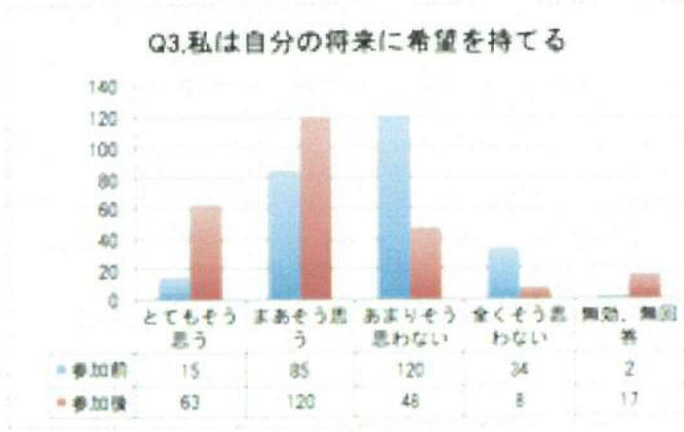
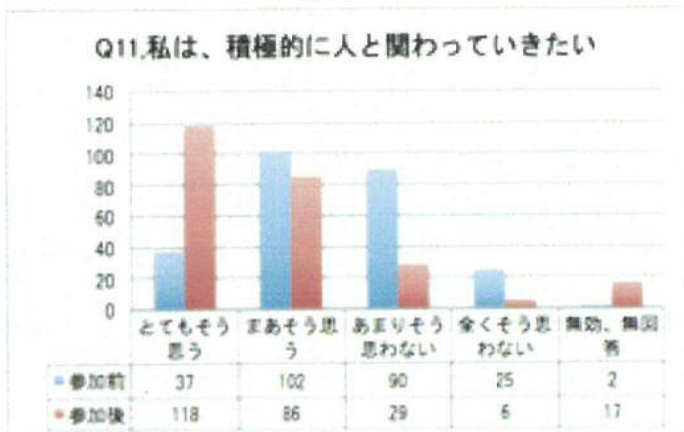


○特徴

- ・大規模校である
- ・学校の隣に大学がある
- ・募集人数が多いため、おとなの募集目標を
中学校 2/3、だっぴ 1/3 で分担して設定した
- ・地元企業との連携



○実施前後アンケート結果



○中学生の感想

- ・たくさんの人の意見がきけた。1つのテーマでたくさんの考えがあった。どんな時でも常に笑顔でいれるようにしたい！
- ・1つのテーマでもいろんな見方、考え方があって、人生や将来の勉強になった！
- ・私の話を素直に受け止めてくれ、その話に共感してくれたことがうれしかった。
- ・すごい楽しかった！色んな考えを持った人と交流をして、意見に共感したり、新しいことを発見できて、新鮮で大人になることが楽しみだと思った。
- ・いろんな人と話せて自分の考え方が変わったし、人生の先輩ってかっこいいなって思った。
- ・大人には大人の気難しい考えがあるのかなと思ったけど、けっこう今の僕らと似ている考えだった。少し安心した。

実施して成果と課題（担当者）

参加する大人やキャストを募集する労力が大きかった。しかし岡山県内各所より沢山の人が集まり、地域では開催されていないが“後輩のためになにかしたい”気持ちを持った協力者が活躍する場ともなった。それにより、中学生だっぴのような場をつくりたいとの声も上がり、これから広がっていくための協力者を発掘する場にもなった。今後の広がりに向けて、実施体制の基盤強化をはじめ、だっぴの開催方法や関わり口の情報発信を整え、リソースを活かせる仕組みづくりをする必要がある。

中学生だっぴの基本的なプログラム

1. 自己紹介

どんな人が
いるのかな？



中学生・大学生・大人の三者で
8~10人程度の輪になります。
いろんな年代や職種の人とお話できるよう、
事前にグループを振り分けています。



出題されたテーマを、
大人も子供も自分の意見を
考えてみます。
セーの！で一斉にオーブ
ン。グループごとに、会話
が始ってゆきます。

事前講座を受けたキ
ャストが安心できる
雰囲気をサポート。
会話を深めます。



話すのって
たのしい！



2. トークテーマ出題

知らなかった地元の会社や仕事。大人を“ひとりの人”として捉えることで、自分の未来のイメージを具体的に持つことができます。

スケッチブックに回答
を書くことで、自分から
話す事が苦手な子も参
加しやすくなります。



こんな人も
いるんだ！

3. ふりかえり、感想共有

だっぴの時間に感じたことや発見したことを共有する時間をとります。ふりかえり整理することで、この時間がより未来につながることを期待しています。

